

次世代人文社会学育成プログラム
平成 22 年度 冬学期 個人派遣
募集のお知らせ《PD・助教》

応募資格：本研究科博士課程を修了あるいは単位取得満期退学したポスドク研究者。現在文学部・人文社会研究科に在職・在籍している助教・ポスドク研究者。いずれも、原則として平成 23 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの間に出発可能な者。ただし、年齢に関しては、平成 23 年 3 月 31 日までに出发可能な者については平成 22 年 4 月 1 日現在 42 歳未満の者、平成 23 年 4 月 1 日以降に出发可能な者については平成 23 年 4 月 1 日現在 42 歳未満の者に限る。

※ 博士課程に在学中の者で、応募の時点で 3 年以上在学し所定の 20 単位を取得していれば、《PD・助教》に応募することが可能です。ただし、採用されたら派遣時点で退学（単位取得満期退学）していただき、派遣期間中は人文社会系研究科附属次世代人文学開発センター萌芽部門次世代人文社会学育成プログラムの客員研究員（無給）として派遣先で研究することになります。なお、出発時期と授業料との関係があるので、PD で応募する場合は大学院係に必ず相談してください。

なお、このプログラムは、平成 25 年 2 月 28 日が事業終了日となるので、この最終日までに帰国しておく必要がある。

募集人数、期間

約 10 名 2 か月以上 1 年以内

これまでの研究業績に加えて、次世代人文社会学への貢献を重視する。すなわち、人文社会学に奥行きと広がりを与え、他の専門分野にも刺激を与えるような、意欲的な研究計画を優先する。

派遣内容：海外の研究機関（1 国のみ）に滞在し、研究を行う。海外派遣のための渡航費（エコノミークラス航空券相当額）および滞在費（支給額は研究計画書等を考慮して本派遣プログラムで算定する）を支給する。

補足説明（プログラム・ホームページの概要・募集要項も必ず参照してください）

- ・ 宿泊先や航空券の手配等は、原則として各自で行ってもらいます。
- ・ 学費・研修費は支給されません。学費免除のある交流協定校を積極的に活用してください
- ・ 他の研究資金（私費を含む）と併用してもかまいません。
- ・ プログラムは International SOS 社の医療アシスタンス・サービスと契約していますが、各自、派遣に際しては必ず海外旅行保険に加入しておいてください。
- ・ ポスドク研究者は、本プログラムへの採択が内定した時点で、次世代人文学開発センター

の客員研究員（任期は1年～2年）として採用し、海外研修・調査の終了後は、その研究成果をもとに、コロキウム「博約文社」の運営および後輩のサポートにあたってもらいます。

・派遣前後の義務

(1) 「コロキウム博約文社」や新規派遣生のための説明会への参加

採用者は、平成22年12月18日（土）に開催される第二回博約文社において、派遣先での研究計画を公表してもらいます。第一回博約文社の概要についてはホームページを参照してください。

(2) プログラム・ホームページへの研究成果の報告

提出書類

応募フォーム、履歴書、研究計画書、業績表

研究計画書の書式は問わないが、以下の項目を含めること

- (1) 研究課題名（日本語および現地公用語）
- (2) 派遣を希望する研究機関名、研修スケジュール
- (3) これまでの研究業績の要約（特に、自分の専門分野における位置付け）
- (4) 派遣を通じて達成したい課題（特に、派遣希望先で研究を行う意義、関連諸分野との接点）

応募にあたっての推薦

- ・PD 枠に応募する場合：人文社会系研究科教員2名（専門分野は問いません）からの推薦を必要とします。応募者は研究計画書を推薦を依頼する教員2名に提出してください。教員は、研究計画書を確認の上で、推薦者となることを承諾するメールをプログラム事務局宛に送ってください（推薦状を作成してもらう必要はありません）。
- ・助教枠に応募する場合：研究室主任の承諾を得たうえで申し込んでください（推薦状を作成してもらう必要はありません）。

提出期限：電子ファイルにより、11月1日（月）午前11:00

選考結果は11月中旬に、大学院係より連絡します

提出・問合せ先：次世代人文社会学育成プログラム事務局（大学院係内）

hakuyaku@l.u-tokyo.ac.jp

募集説明会：10月14日（木）17:00~18:30 会場：教員談話室（法文2号館2階）